

和歌山県白浜町の海岸道路で2015年5月に事故死した ハクビシンとニホンテン

Shin KUBOTA : Masked palm civet *Paguma larvata* and Japanese marten *Martes melampus melampus* found as road-kills along a seaside road at Shirahama,
Wakayama Prefecture, Japan in May, 2015

久保田 信

著者が勤務する白浜半島先端に位置する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所と自宅のある上富田町南紀の台の2地点間を自家用車で通勤中の日常観察結果として、海岸道路数km上で、これまで5種（アライグマ、チョウセンイタチ、ニホンアナグマ、ニホンテン、ホンダヌキ）の野生哺乳類の交通事故死を報告した（久保田，2001，2006，2009）。今回は2015年5月中に、新たに6種目として、昨今、紀南地方でも問題となってきた（紀伊民報，2015）東南アジアから外来したとされるハクビシン *Paguma larvata* と、これまでも報告した（久保田，2001，2006）ニホンテン *Martes melampus melampus* の事故死体に再び遭遇したので報告する。



図 1



図 2

ハクビシン1個体の死体の発見場所は、白浜町に所在する近畿大学のヒラメ養魚池を通る霊泉橋を少し過ぎた海岸道路上で（図1）、2015年5月21日の午前6時頃に発見した（図2）。ニホンテン1個体の死体は白浜町堅田の「とれとれ市場」の数百mほど田辺市よりの道路上で、2015年5月1日の午前5時20分頃に遭遇した。いずれの個体も、早朝の発見であることから、おそらく夜間の移動中に事故にあったものであろう。

引用文献

- 紀伊民報，2015：ハクビシン3年で25匹 白浜と田辺で相次いで捕獲．2015年5月27日付第21830号1面．
- 久保田 信．2001：和歌山県白浜半島付近の海岸道路で最近事故死した3種の哺乳類．南紀生物，**43** (1)，58．
- ．2006：和歌山県白浜町の海岸道路で最近事故死してニホンテン．くろしお，(25)，15．
- ．2009：和歌山県白浜町の海岸道路で事故死したアライグマ *Procyon lotor*．くろしお，(28)，33

図1・2 和歌山県白浜町の海岸道路（図1）で2015年5月21日早朝に発見されたハクビシン *Paguma larvata* の事故死体（図2）

（〒649-2211 西牟婁郡白浜町459）
京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所